

みずほCustomer Desk Report 2022/01/05号(As of 2022/01/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.43
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	115.33	1.1302	130.37	1.3482	0.7197
SYD-NY High	116.35	1.1323	131.43	1.3556	0.7249
SYD-NY Low	115.30	1.1273	130.37	1.3462	0.7185
NY 5:00 PM	116.12	1.1286	131.03	1.3527	0.7239

NY DOW	36,799.65	214.59	日本2年債	-0.0900	0.00bp
NASDAQ	15,622.72	▲ 210.08	日本10年債	0.0800	1.00bp
S&P	4,793.54	▲ 3.02	米国2年債	0.7589	▲ 1.59bp
日経平均	29,301.79	510.08	米国5年債	1.3597	0.00bp
TOPIX	2,030.22	37.89	米国10年債	1.6481	1.32bp
シカゴ日経先物	29,325.00	350.00	独10年債	-0.1315	▲ 0.45bp
ロンドンFT	7,505.15	120.61	英10年債	1.0855	11.50bp
DAX	16,152.61	131.88	豪10年債	1.7430	6.70bp
ハンセン指数	23,289.84	15.09	USDJPY 1M Vol	5.90	0.33%
上海総合	3,632.33	▲ 7.45	USDJPY 3M Vol	6.13	0.18%
NY金	1,814.60	14.50	USDJPY 6M Vol	6.34	0.09%
WTI	76.99	0.91	USDJPY 1M 25RR	-0.30	Yen Call Over
CRB指数	235.505	2.50	EURJPY 3M Vol	6.38	0.07%
ドルインデックス	96.26	0.05	EURJPY 6M Vol	6.80	0.06%

東京	東京時間のドル円は115.33レベルでオープン後、仲値にかけて115円台半ばまで上昇。日経平均の堅調推移を横目にじりじりと値を上げ、正午頃に115.50突破すると、段階的にストップロスも巻き込みながら一時115.81まで急伸。その後も高値圏での推移を続け、115.80レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.80レベルでオープン。東京時間の上昇を引き継ぎほぼ一本調子で上昇。堅調な米長期金利や欧州株がサポートし2017年以来の116.35まで上昇。116.30レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3468レベルでオープン。英12月製造業PMIの改定値が上方修正される中、ポンドは対ユーロでの2020年来高値をさらに更新。対ドルでも強含み一時1.3514まで買われる。結局1.3486レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	今年は各国の金融政策の違いが大きく注目される年と言われる中、リスクの円売りや昨日の米金利上昇を更にキャッチアップするドル買いの動きが出ているとの話もあり、海外市場のドル円は昨年の高値115.52を抜け、5年来の高値である116.35まで上伸し、116.30レベルでNYオープン。朝方はOPECプラスで予定通り2月は日量40万バレルの増産が決定とのヘッドラインが伝わるが、このニュースを受けたドル円の反応は限定的となり、海外市場の流れを引き継ぎドル円は高値圏での推移が続く。10時に発表の米12月ISM製造業景況指数が、構成指数の雇用は予想を上回り週末発表の米雇用統計に対する期待が強まるものの、支払価格が予想を大きく下回ったことから米金利が落ち着く展開に、ドル円は115.96まで反落する。午後は新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、116.12レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いが強まったことから1.1273レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、ISM製造業景況指数結果を受けたドル売りに1.1323まで戻す。しかし戻り売りに1.1278まで反落する。終盤に掛けては方向感の無い推移が続き、1.1286レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・小林

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月4日	16:00	独 小売売上高(前月比)	11月	0.6%
1月5日	00:00	米 ISM製造業景況指数	12月	58.7
				60

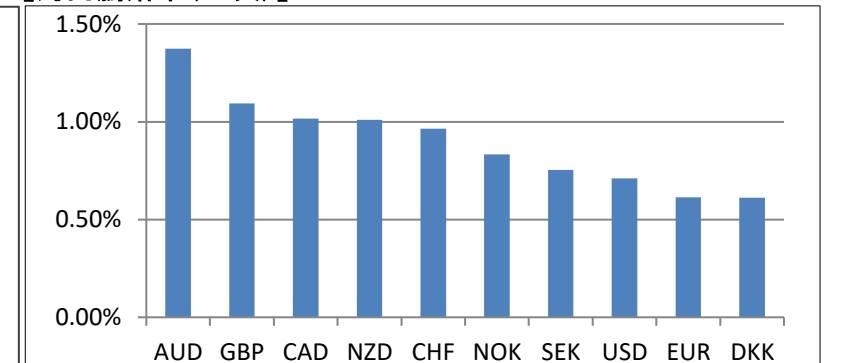
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月5日	17:55	独 マークイットサービス業PMI・確報	12月	48.4
	22:15	米 ADP雇用統計	12月	410k
	23:45	米 マークイットサービス業PMI・確報	12月	57.5
				57.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.50-116.50	1.1250-1.1350	130.50-131.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、堅調な値動きとなった。東京時間のドル買いの動きは海外時間も継続し、米10年債利回りの上昇や、大きく上昇した日経平均に続いて欧州株も堅調となったことを背景に、116.35円まで上値を伸ばす展開となった。その後発表された米12月ISM製造業景況指数が市場予想を下回り、一時115円台に弱含むものの影響は限定的となり、すぐに116円台を回復、東京時間早朝も116円台前半の高値圏での値動きとなっている。

本日のドル/円は上値重い展開を予想する。昨日、ドル/円の急上昇をサポートした米長期金利の動きが一服しており、緩やかな低下基調となっている。また、約5年ぶりの116円台ということで、本日から本格的に始動する本邦輸出企業のドル売りも出やすいと想定されることから上値重い推移となりそうだ。一方で日米金利差が意識されている為、下値は限定的になるとと思われる。